

## 【2018 年度 シラバス】

時間割コード		開講区分	秋・冬学期 (月曜2限など)
ナンバリングコード※	3B1104 (知のジムナスティック科目)	曜日・時間	月 2
開講科目名	対話術D (対話型まちづくり術)	単位数	2
担当教員	辻寛、森栗茂一、辻堂史子	年次	全研究科、学部3年 以上の全学生、社会 人(若干名))
講義題目	対話術D (対話型まちづくり術)		
開講言語	日本語		
授業の目的	まちづくり・みちづくりをテーマとして、多様な専攻学生による対話型学習によりテーマに対する認識を深めるとともに、解決に向けた集団的思考方法を体得する。		
学習目標	<p>異なる専門分野との違いを認識し、相互理解を行うための幅広い思考やコミュニケーション方法を身に着ける。</p> <p>対話を通して多様性を尊重しながらグループで課題に対応する方法を体得する。</p> <p>多様な課題を「我が事」として捉え、社会における市民的態度を養う。</p>		
履修条件・受講条件 ※	講義では履修生間の討議、対話による相互理解・互学互習を行うため、積極的に議論に参加することを期待する。		
授業計画	<p>第1回：10/1 オリエンテーション</p> <p>第2回：10/15 くるくるバスと話し合い</p> <p>第3回：10/22 淡路島長沢ミニバス</p> <p>第4回：10/29 なぜ今、コミュニティ交通を協働で考えねばならないか</p> <p>第5回：11/12 山口市市民交通計画</p> <p>第6回：11/19 京丹後上限200円バス</p> <p>第7回：11/26 ラクダ高岡ー市民団体の主導</p> <p>第8回：12/3 当別町コミュニティバスー民間企業と行政の協働</p> <p>第9回：12/10 イギリス・スペインの対話型交通政策と話し合い</p> <p>第10回：12/17 海外・国内事例から見る交通とまちづくりの担い手</p> <p>第11回：12/25 これからの道路政策</p> <p>第12回：1/7 道路空間再構築と自転車</p> <p>第13回：1/21 道の駅と地域づくり</p> <p>第14回：1/28 道路政策とコミュニケーション</p> <p>第15回：2/4 まとめ</p>		

授業外における学習	毎時間、教科書・参考文献等を読んで、課題をみつげてくる。
教科書・参考資料 ※	森栗茂一編著：「コミュニティ交通の作り方」学芸出版 1500 円（教室で配布） その他、適時紹介する
参考文献 ※	板倉・森栗・辻・武知「わが国における地域インフラの維持・活用に向けたメ データの必要性」『第 50 回土木計画学研究発表会・講演集』2015 年 宇沢弘文『自動車の社会的費用』岩波新書 その他、適時紹介する
成績評価	講義への参加 50% 授業における発言など 20% レポート 30%
キーワード ※	交通計画、まちづくり、みちづくり、住民協働、コミュニティ、「我が事」